

[検索](#) / [新着情報](#) / [このサイトのご利用について](#) / [サイトマップ](#)[TOP](#) > [教育改革・教育全般](#) > 県立高校の共学化について(基本的な考え方)

平成16年4月1日更新 / 高校教育課

[戻る](#)

## 県立高校の共学化について(基本的な考え方)

平成15年7月

平成13年3月に、県立高校の男女共学化に関する方針を決定しておりますが、これまで、県民の皆様から御意見や御要望をいただくなど、関心度の高い事柄であることから、今回改めて県教育委員会としての基本的な考え方をお示し、さらなる御理解をお願いするものです。

### ○ 男女共学化の方針はどのようにして決まったのですか。

宮城県では、現行の学校制度が発足した昭和23年以降、県立高校の男女共学化を進めて参りました。特に昭和40年代以降においては、職業選択の自由を実質的に確保する観点から、専門学科を有する県立高校において共学化を進め、また、昭和48年度以降に新設した16校は、全て共学校としました。

このような状況の中、時代の要請に対応した高校づくりを目指して、平成10年度から「県立高校将来構想」の策定に取りかかりました。その中で、未来の高校生にとって教育環境はどうあるべきかといった将来的な視点から検討を積み重ね、平成13年3月に、男女共学化の基本方針を発表しました。

この基本方針では、校舎の改築や学科改編、再編などを機に、対象校ごとに関係者の理解を得ながら、全ての別学校の共学化を推進することとしておりますが、この基本方針の決定に際しては、中学生、高校生、その保護者及び一般県民を対象としたアンケート調査を行うとともに、数十回にも及ぶ説明会や意見を聴く会を開催したほか、有識者会議や県議会の場において熱心な議論が行われました。このように県民の意見を集約して、基本方針として定められたものです。

### ○ なぜ、男女共学が必要なのですか。

県民の負担で設置・運営されている公の施設である県立高校においては、男子・女子という性によって入学制限を設けることは好ましくありません。また、男女が共に学び、理解し、成長し合う場を日常的に設けることが教育環境として望ましく、学校が社会の在り方の反映であることから、共に学ぶ方が自然です。このため、各男女別学校がこれまで育んできた良き伝統を継承しながら、男女の別なく門戸を開放することが、宮城県の基本的な姿勢です。

### ○ 共学化をどのように進めるのでしょうか。

各男女別学校では、学校関係者の理解を得る努力を重ねるとともに、共学化を契機として、さらにより良い学校になるように、これまで築いてきた歴史や伝統、地域に貢献してきた実績等を踏まえながら、将来的な在り方について検討を行うなど、共学化に向けた準備に努めています。

県教育委員会としましては、共学への方向が定まった学校から男女募集の年度を発表し、実施に向けた具体的な取り組みをしていくこととしております。

[▲ページのトップへ戻る](#)

このページに関する問い合わせは 教育庁高校教育課改革推進班へ

E-mail: kokai@pref.miyagi.jp

電話: 022-211-3711 / FAX: 022-211-3696

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町3丁目8-1